

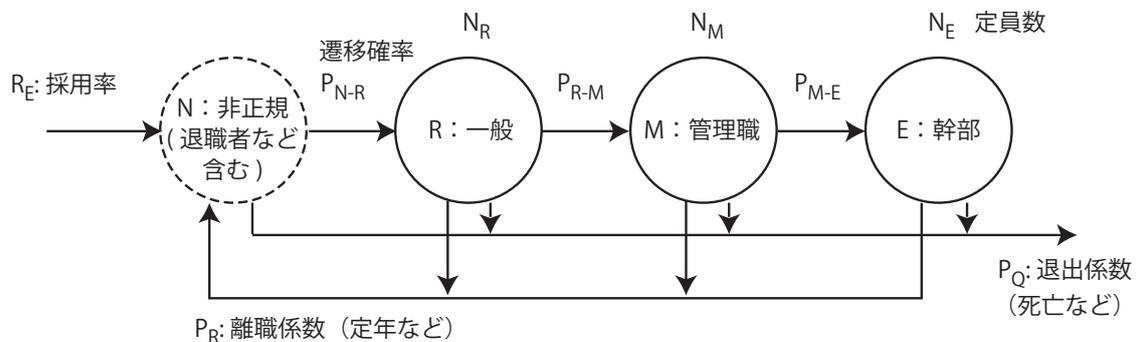
プラズマシミュレーションのキャリア形成のモデリングへの応用 -伝統的な考え方に基づくモデリング-

佐々木明

量子科学技術研究開発機構・関西光量子科学研究所

本発表では、衝突輻射 (CR) モデルを用いた、大学、研究所や企業の組織におけるキャリア形成のモデリングについて述べる。現実の組織のダイナミクスに対して、理論上の単純化を行うことで一般的な結論を引き出すこと目指し、(図1) のように複雑な組織を抽象化し、少数の状態とその間の遷移をレート方程式で表した。その状態は、直前の状態にのみ依存する性質を持つことから、マルコフ連鎖モンテカルロ法を用いて定常状態の分布を求めた。この中の人々が、採用から退職まで準定常的に遷移することに注目した解析を行った。伝統的な経験年数をもとにしたキャリア形成の考え方が、数値モデル化できることに注目し、生涯を通じて得られる収入とそのパラメータ依存性について考察した。

モデルの適用例として、現在の非正規職員を多く持つ組織の特性について検討した。またジェンダーバランスの問題について、男性と女性を得る収入の差異や女性幹部の比率をもとに検討し、衝突輻射モデルが自然科学だけでなく社会の問題にも広い応用を持ち得ることを示す。また、シミュレーションの結果を厚生労働省賃金構造基本調査の結果と比較して、現在の日本の社会において、伝統的な考え方が男性と女性のキャリア形成に与えている影響力について議論する。



(図 1) 組織と其中的人のキャリア形成の特性を抽象化して表した状態遷移図